学校番号	３０１６

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校 政治・経済（実教出版）						
副教材等	政治・経済　（東京法令出版） ４ステージ演習ノート 政治・経済　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・政治経済は，現代の政治や経済，国際関係などを理解し，考察する科目であるが，その際に，地理的，歴史的，哲学的知識など幅広い知識が求められる。特に政治経済を学ぶ人は，他の社会科の授業も大切にしてほしい。
・言うまでもなく，時事的な問題に興味・関心を持つことが大切である。日頃から新聞やニュースに触れ，社会の動きに明るい人は，政治や経済の問題を，主体的かつ公正に，より深く考察することができる。
・現代を考察するとき，現代を構築するに至るまでの歴史的認識は大変重要である。政治経済の場合は，特に第２次世界大戦後の日本や世界の時系列の知識や思考力が求められる。

2　学習の到達目標

・現代の政治や経済のしくみ，国際関係のあり方などを理解する。
・政治・経済の課題を認識し，良識ある公民として，主体的かつ公正にその課題に取り組む能力を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本や世界で起こっている事象やその課題を意欲的に見いだし,問題意識をもってその解決に取り組もうとする。	政治や経済のしくみ,国際関係のあり方を積極的に学び,内外の課題に対する各自の意見を持つとともに,各自の表現でそれを伝える。	政治や経済のしくみ，国際関係のあり方などを学ぶ上で,授業の学習教材や書籍，新聞，WEB サイトなどから適切な情報を収集し活用する。	良識ある公民としての判断力をもつとともに，将来の日本や世界のあり方を考察し，自己の考え方を確立する。
評価方法	レポート 定期考査（記述問題）	ワークシート 定期考査（記述問題）	ワークシート 定期考査	レポート 定期考査(記述問題)

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期1	民主政治の基本原理と憲法	・民主政治の基本原理 ・世界の政治体制 ・民主政治の課題 ・憲法の基本原理 ・憲法のあり方	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	a:政治や憲法に関心を持ち，課題を見いだす b:政治や憲法の課題を考察し，意見をまとめる c:政治や憲法の知識を深める d:憲法のあり方を考察する	レポート 定期考査 (記述問題)
前期2	日本の政治機構と現代の政治	・国会・内閣・裁判所 ・地方自治 ・戦後政治の歩み ・政党と選挙，政治参加	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	a:政治に関心を持ち，課題を見いだす。 b:政治の課題を考察し，意見をまとめる c:政治に対する知識を深める d:政治のあり方を考察する	ワークシート 定期考査 (記述問題)
前期3	現代の国際政治	・国際社会と国際法 ・国連と国際協力 ・現代国際政治の動向 ・核兵器と軍縮 ・人種・民族問題 ・国際政治と日本	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a:国際政治に関心を持ち，課題を見いだす。 b:国際政治の課題を考察し，意見をまとめる c:国際政治の知識を深める d:国際政治のあり方を考察する	ワークシート 定期考査 (記述問題)
後期1	経済社会の発展と現代経済のしくみ	・経済社会の変容 ・企業・市場・国民所得 ・金融・財政 ・戦後の日本経済の歩み ・公害問題と消費者問題	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:経済に関心を持ち，課題を見いだす b:経済的な課題を考察し，意見をまとめる c:経済に対する知識を深める d:経済活動のあり方を考察する	ワークシート 定期考査 (記述問題)
後期2	国際経済の動向	・貿易・為替・国際収支 ・国際経済体制の変化 ・グローバル化と金融危機 ・地域経済統合 ・経済協力と人間開発	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:国際経済に関心を持ち，課題を見いだす b:経済的な課題を考察し，意見をまとめる c 国際:経済の知識を深める d:国際経済のあり方を考察する	レポート 定期考査 (記述問題)

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。